

届出

[平成21年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

国際医療福祉大学 福岡看護学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 国際医療福祉大学
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シムブ 事務部 マツダ 松田 タカノリ 隆則

電話番号 092-739-4321

（夜間） 092-739-4321

F A X 092-739-4343

e-mail matsudatakanori@iuhw.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学 福岡看護学部

(3) 大学の位置

〒810-0072

福岡県福岡市中央区長浜1-3-1

(〒324-8501
栃木県大田原市北金丸2600番1)

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成6年12月)		
学長	(タニ シュウイチ) 谷 修一 (平成13年10月)		
学部長	(オダ マサエ) 小田 正枝 (平成21年4月)		
学科長等	(オダ マサエ) 小田 正枝 (平成21年4月)		

(注) 1. 『(3) 大学の位置』は、届出学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

2. 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告する内容 → (21)

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
福岡看護学部 看護学科 学士(看護学)	4年	80人	0年次人	320人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

今年度は平成22年度欄の記入は不要です。

区分	対象年度				平均入学定員超過率	備 考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	()人	()人	(ー)人 80	()人	1.27倍	
志願者数	()	()	(ー) 259	()		
受験者数	()	()	(ー) 245	()		
合格者数	()	()	(ー) 147	()		
B 入学者数	()	()	(ー) 102	()		
入学定員超過率 B/A	()	()	(ー) 1.27	()		

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「ー」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

今年度は平成22年度欄の記入は不要です。

学年	対象年度				備 考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[]	[]	(ー) 102	[]	
2年次	[]	[]	[]	[]	
3年次	[]	[]	[]	[]	
4年次	[]	[]	[]	[]	
計	[]	[]	(ー) 102	[]	

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「ー」を記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成19年度開設の博士後期課程の場合(平成21年度までの3年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
○○研究科 ○○専攻(○○課程) 修士(○○) 又は 博士(○○)	年	人	人	基礎となる学部等

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員超過率	備 考
		() 人	() 人	() 人		
A 入学定員		()	()	()		
志願者数		()	()	()		
受験者数		()	()	()		
合格者数		()	()	()		
B 入学者数		()	()	()		
入学定員超過率 B/A		()	()	()		

(注) 1 () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備 考
		[]	[]	[]	
1年次		[]	[]	[]	
2年次		[]	[]	[]	
3年次		[]	[]	[]	
計		[]	[]	[]	

(注) 1 [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [0]	(累積)計 [0]	[0%]
	うち平成19年度入学者 一人	うち平成19年度 一人	0%
	うち平成20年度入学者 一人	うち平成20年度 一人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 0人	
(主な退学理由)			
平成22年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人		
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数の割合」欄は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な退学理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<福岡看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	宗教と文化	1前		2								
	文学	1・2・3・4前		2								
	演劇論	1・2・3・4前		2								
	人間と芸術	1前		2								
	スポーツと科学	1前	1									
	生命倫理	1前	1									
	教育学	1・2・3・4後		2								
	死生学	4後		1								
	社会生活と法	1後		2								
	文化人類学	1後		2								
	家族と看護	2前	2									
	国際関係論	2前		2								
	ボランティア論	1・2・3・4通		2								
	社会保障制度論	1・2・3・4前		2								
	国際医療福祉論	1・2・3・4前		2								
	保健行動論	2前	2									
	情報科学	1前	2						1			
	情報科学演習	1通	2						1			
	人間関係論	1前	1									
	医学/医療史	1・2・3・4後		2								
	1前											
医療関連英語	1通	1							1		学生の理解度を考慮し、医療関連英語を前期、看護英会話を後期へ変更(21)	
	1後											
看護英会話	1通		1						1			
	1後											
	医療ハングル	1通		1							本務先の都合により、後期へ変更(21)	
	日本語表現と作法	1前	1									
	発達心理学	1後		2								
	臨床心理学	2後		2								
	カウンセリング論	3前		1								
	音楽療法	1前		1								
	看護形態機能学Ⅰ(形態)	1前		2								
		1後									看護形態機能学Ⅰの履修後がより学生の理解度が増す為、後期へ変更(21)	
	看護形態機能学Ⅱ(機能)	1前		2								
	免疫と感染	1前		2								
	臨床薬理学	2前		2								
	病態栄養学	2前		2								
	病気の成り立ち	1後		2			3	2	3			
	病態生理学Ⅰ(呼吸器・循環器等)	1後		2								
	病態生理学Ⅱ(消化器・内分泌等)	2前		2								
	病態生理学Ⅲ(脳神経・小児等)	2前		2								
	リハビリテーション学	3前		2								
	保健福祉行政論	2後		2								
	健康政策論	4前		2								
	保健医療福祉制度論	1・2・3・4後		2								
	医療社会学	4前		2								

専 門 教 育 科 目	公衆衛生学	2前	2						
	健康現象の疫学・保健統計学	2後	2				1		
	国際保健論	4前	2						
	基礎ゼミナールⅠ（演習）	1後	1		5	7	6	4	
	基礎ゼミナールⅡ（実習）	1前	1		5	7	6	4	
	看護学原論	1前	2		1				
	理論看護学	1後	2		1	1	1		
	看護過程論	2前	1		1	1	1		
	看護倫理	2後	1		1				
	フィジカルアセスメント	1後	1				1	1	
	感染看護論	1後	1			1			
	生活支援技術論	1通	4		5	7	6	4	
	臨床関連技術論	2前	2		5	7	6	4	
	コミュニケーション・生活支援実習	1後	1		5	7	6	4	
	看護過程論実習	2前	2		5	7	6	4	
	在宅ケア概論	2後	2			1			
	在宅ケア方法論	2後	2			1	1		
	地域看護学概論	3前	2		1				
	地域看護診断論	3前	2		1				
	地域看護方法論	3前	2		1				
	地域看護管理論	3前	1		1				
	地域・在宅看護学実習	3後・4前	4		1				2
	精神看護学概論	2後	2				1		
	精神看護方法論	2後	2				1		
	精神看護学実習	3後・4前	2				1		1
	成人看護学概論	2前	2			1			
	成人急性期・回復期看護方法論	2前	3			1		1	
	成人慢性期・終末期看護方法論	2後	3			1		1	1
	老年看護学概論	2前	2			1			
	老年看護方法論	2後	2			1	1		
	成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	3後・4前	2			1		1	
	成人看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）	3後・4前	2			1		1	
	老年看護学実習	3後・4前	4			1	1		
	小児看護学概論	3前	2					1	
	小児看護方法論	3前	2					1	
	リプロダクティブヘルス看護学概論	3前	2		2				
	リプロダクティブヘルス看護方法論	3前	2			2			
	小児看護学実習	3後・4前	2					1	1
リプロダクティブヘルス看護学実習	3後・4前	2		1	2				
総合看護演習	4後		1	5	7	6	4		
看護管理論	4後		2	1	1				
看護教育学	4後		2	1					
災害看護論	4後		2		2				
国際看護論	4後		2			1			
研究方法論	3前		2	5	7	6			
卒業研究	4通		2	5	7	6			
総合看護実習	4前		2	5	7	6	4	5	

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
62	27		89	62	27		89	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(福岡天神キャンパス)

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動場用地は校舎敷地 と別地 運動場用地は福岡リハ ビリテーション学部 (大川)、所要時間約 52分、距離約60km		
	校舎敷地	1,986.36㎡	0㎡	— ㎡	1,986.36㎡			
	運動場用地	5,606.00㎡	0㎡	— ㎡	5,606.00㎡			
	小 計	7,592.36㎡	0㎡	— ㎡	7,592.36㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	— ㎡	0㎡			
	合 計	7,592.36㎡	0㎡	— ㎡	7,592.36㎡			
(2) 校 舎	専 用	9,165.54㎡	0㎡	0㎡	9,165.54㎡			
	(9,165.54㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(9,165.54㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	情報処理室は語学学習 施設を兼ねる。 演習室が11から8に変 更したが面積は減少し ない。		
	8 室	8 室	3 室	1 室 (補助職員0人)	1 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	福岡看護学部			20 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]
	福岡看護学部	冊	種	点	点	点		
		7,000 [700] (5,000 [500])	60 [30] (60 [30])	3,100 [3,100] (3,012 [3,012])	95 (81)	5,000 (5,000)	20 (20)	
計	冊	種	点	点	点			
	7,000 [700] (5,000 [500])	60 [30] (60 [30])	3,100 [3,100] (3,012 [3,012])	95 (81)	5,000 (5,000)	20 (20)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	398㎡		65席		25,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	500千円	600千円	図書購入費	30,000千円	5,000千円	5,000千円
	共 同 研 究 費 等	12,000千円	12,000千円	設備購入費	150,000千円	50,000千円	10,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,700千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

(注) 1 届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

2 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
保健医療学部 看護学科	4	100		400	学士(看護学)	1.28	平成7年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
理学療法学科	4	80		320	学士(理学療法学)	1.27	平成7年度		
作業療法学科	4	80		320	学士(作業療法学)	1.25	平成7年度		
言語聴覚学科	4	80		320	学士(言語聴覚学)	1.20	平成7年度		
視機能療法学科	4	40		160	学士(視機能療法学)	1.25	平成14年度		
放射線・情報学科	4	100		400	学士(放射線・情報科学)	1.25	平成7年度		
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科	4	160	5	650	学士(医療福祉学)	1.04	平成21年度		
					学士(医療マネジメント学)				
医療経営管理学科	4	100		400	学士(医療経営管理学)	-	平成9年度		平成21年度から学生募集停止
医療福祉学科	4	140	5	570	学士(医療福祉学)	-	平成9年度		平成21年度から学生募集停止
薬学部 薬学科(6年制)	6	180		1080	学士(薬学)	0.91	平成18年度		
福岡リハビリテーション学部 理学療法学科	4	80		320	学士(理学療法学)	1.24	平成17年度	福岡県大川市榎津字中曾利137番1	
作業療法学科	4	40		160	学士(作業療法学)	1.18	平成17年度		
言語聴覚学科	4	40		160	学士(言語聴覚学)	1.02	平成19年度		
福岡看護学部 看護学科	4	80		320	学士(看護学)	1.27	平成21年度	福岡県福岡市長浜1丁目3番1号	

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
小田原保健医療学部								
看護学科	4	50		200	学士（看護学）	1.16	平成18年度	神奈川県小田原市城山一丁目2番25号
理学療法学科	4	40		160	学士（理学療法学）	1.27	平成18年度	
作業療法学科	4	40		160	学士（作業療法学）	1.27	平成18年度	
医療福祉学研究科								
保健医療学専攻（修士課程）	2	100		200	修士（保健医療学） 修士（看護学） 修士（助産学）	1.52	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1
医療福祉経営専攻（修士課程）	2	50		100	修士（医療福祉経営） 修士（医療福祉） 修士（診療情報管理学）	1.33	平成13年度	
臨床心理学専攻（修士課程）	2	25		50	修士（臨床心理学）	1.31	平成19年度	
保健医療学専攻（博士課程）	3	50		150	博士（保健医療学） 博士（看護学） 博士（助産学） 博士（医療福祉経営学） 博士（医療福祉学）	1.72	平成13年度	栃木県大田原市北金丸2600番1
薬科学研究科								
医療・生命薬科学専攻（修士課程）	2	15		30	修士（薬科学）	1.06	平成21年度	

- (注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。
（大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- 2 認可申請書の様式第2号（その1）に準じて作成してください。
- 3 「定員超過率」欄には、各修業年限に相当する期間（学年進行中の場合は、設置後経過した年数分）における入学定員超過率の平均を記入してください。
入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
なお、学生募集停止中の学部等については、「-」を記入するとともに、「備考」欄に「平成〇年度から学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<福岡看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	新小田 春美	平成22年4月	基礎ゼミナールⅠ(演習) 基礎ゼミナールⅡ(実習) リプロダクティブヘルス看護学概論 リプロダクティブヘルス看護学実習 研究方法論 卒業研究 総合看護演習 総合看護実習 コミュニケーション・生活支援実習 看護過程論実習 生活支援技術論 臨床関連技術論			後任未定			就任辞退(21) 「後任未定」平成22年4月から専任教員採用予定で選考中。 専門は3年次、基礎科目は非常勤講師採用予定のため、支障はない。
兼任	講師	佐伯 圭一郎	平成21年4月	健康現象の疫学・保健統計学	兼任	講師	佐伯 圭一郎	平成22年4月	健康現象の疫学・保健統計学	就任年月の誤り(21) 担当科目は22年後期の開講
兼任	講師	山口 哲朗	平成21年4月	病態生理学Ⅰ	兼任	講師	山口 哲朗	平成21年4月	病態生理学Ⅰ	就任辞退(21) 金出教授は福岡山王病院院長に就任の為辞退、佐々木教授は福岡山王病院予防医学センターに就任の為辞退。 「病態生理学Ⅰ」は、山口講師、二村講師で講可能な為支障はない。
兼任	教授	金出 英夫			兼任	講師	二村 聡			
兼任	教授	佐々木 淳								
兼任	講師	二村 聡								
兼任	講師	谷川 弘治	平成21年4月	人間関係論	兼任	講師	藤野 成美	平成21年4月	人間関係論	就任辞退(21) 本務先の都合により辞退
兼任	講師	巖 紅	平成21年4月	スポーツと科学	兼任	講師	井出 幸二郎	平成21年4月	スポーツと科学	就任辞退(21) 本務先の都合により辞退

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	7	6	4	23	0	6	7	6	4	23	0	
(1)	(3)	(5)	(3)	(12)	(0)	[1]	[3]	[5]	[3]	[12]	[0]	

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	新小田 春美	本務先の都合により就任辞任(平成22年4月就任予定であったが、平成21年3月辞退の申し入れ)
2			

3			
---	--	--	--

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

母性看護学の就任辞退は、初年次に授業がなく、止むを得ないものと判断した。後任者を選考中であり、履修等には支障をきたさない。

- (注) 1 「(1) 担当教員表」は、設置届出書の様式第3号(その1)に準じて作成してください。
なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- 2 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - 3 辞任者は「備考」欄に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - 4 年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - 5 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。
 - 6 「(2) 教員数」の「届出時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)
 - 7 「(3) 専任教員辞任等の理由」欄には、届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 - 8 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 その他全般的事項

<福岡看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
①施設・設備 別添の通り	①施設・設備 別添の通り

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

※関係規程等を転載又は添付すること → 別添

福岡看護学部FD委員会（本校規程準用）

福岡リハビリテーション学部と合同のFD委員会（本校規程準用）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

福岡看護学部FD委員会（4名） 1回開催

合同のFD委員会（8名） 1回開催

c 委員会の審議事項等

本校FD研修会への参加

福岡看護学部FD研修会の実施計画（11月頃）

② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

a 実施内容

・福岡看護学部助教力向上の為の研修プログラム組み立て、実施

・福岡県立大学を幹事校とし、九州・沖縄の看護系大学15大学が連携した「ケアリング・アイランド九州沖縄」の連携校（文科省助成 申請済）

b 実施方法

・助教力向上研修

今年は助教に授業案を作成してもらい、発表する。来年度具体の授業として実施し、学部内FD委員が、参加観察し授業終了後当人を交えて授業方法、内容等について討論して教育方法の改善に資する。

・ケアリング・アイランド九州沖縄

具体策・ケアリングFD/CSD（大学教員および臨床実習指導者の教育力開発）

・卒後リメディアル・サポート（卒後1年目を対象にした離職予防：メンタリングと技術支援）

・学生を核とするケアリング。コンソーシアム構築。

これらを元に各大学の長を生かした地域貢献プログラムを数カ月にわたり順に展開していくケアリングプログラムを実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・助教力向上研修 看護学部の助教（21年度3人参加）

・ケアリング・アイランド九州沖縄（21年度9名参）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

いずれのプロジェクトも始まったばかりであり結果が出ていない。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成21年12月1日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、学内では役員等、教員及び附属施設の長等各1冊を配布、学外では、文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団、日本私立大学協会等の関係団体、医療・保健・福祉系の国公立大学、前記以外の自己点検評価報告書の寄贈を受けた大学、主な学外実習施設、自己点検・評価委員会外部委員、地元記者クラブに各1冊配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成21年12月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成19年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の認証評価を受けた。次回、法令に定められた期間内のいつ受けるかは学内で検討中。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成21年9月1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.iuhw.ac.jp>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成21年9月1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.iuhw.ac.jp>)

- (注) 1 項目は、1～5の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 「(1) 設置計画変更事項等」の記入事項は、原則として、設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。
また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

設置計画変更事項等

別添

階 数	届出時の計画		変更内容	
	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)
1階	給湯室	8.6	給湯室	8.6
	男子更衣室	7.7	男子更衣室	7.7
	女子更衣室	21.6	女子更衣室	21.6
	休憩室	10.8	休憩室	10.8
	清掃控え室	23.5	清掃控え室	23.5
	倉庫	39.4	倉庫	39.4
	受水槽置場	41.5	受水槽置場	41.5
2階	非常勤講師室	15.7	入試準備倉庫	15.7
	給湯室	3.2	給湯室	11.6
	役員室	13.7	役員室	13.7
	事務室	88.7	事務室	91.5
	経理課	16.3	経理課	15.2
	倉庫	24.4	コピー印刷室	8.4
			資料室	8.2
	会議室1	39.4	会議室1	67.6
	会議室2	38.0		
	入試準備室	27.6	会議室2	27.6
	入試準備倉庫	14.1	非常勤講師室	14.1
	学生ロビー	27.2	学生ロビー	27.2
	相談室	11.8	相談室	14.9
	カウンセリング室	11.8	カウンセリング室	13.9
	保健室	16.5	保健室	16.6
	予備室	13.7	防災センター	13.6
応接室	23.8	副学長室	19.4	
金庫室	8.4	金庫室	12.3	
サーバー室	10.9	サーバー室	13.5	
3階	演習室1	16.4	演習室33	43.1
	演習室2	16.0		
	演習室3	16.0	演習室34	42.7
	演習室4	16.0		
	講義室 中	87.0	講義室 302	87.0
	講義室 中	85.0	講義室 301	85.0
	女子更衣室2	46.8	更衣室1	46.8
	女子更衣室1	33.3	更衣室2	33.3
	研究室小 1	15.3	演習室32	31.2
	研究室小 2	15.1		
	研究室小 3	16.6	演習室31	34.1
	研究室小 4	16.6		

階 数	申請時		変更後	
	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)
4階	講義室 中	90.0	講義室401	86.9
	講義室 大	183.5	講義室402	173.6
5階	講義室 大	250.7	研究室10	27.4
			研究室11	28.9
			研究室12	17.4
			研究室13	17.0
			研究室14	17.0
			研究室15	17.4
			研究室17	17.4
			研究室18	17.0
			研究室19	35.2
	講義室 中	78.5	共同研究室16	39.1
			共同研究室20	39.1
	男子更衣室	8.6	更衣室	8.6
	学生自習室1	13.3	自習室51	13.8
	学生自習室2	12.8	自習室52	12.8
	学生自習室3	21.5	自習室53	21.5
	応接室	16.6	応接室	16.6
	印刷室	13.0	印刷室	13.0
	給湯室	13.4	給湯室	13.4
	研究室小 5	16.7	学部長室	32.6
	研究室小 6	15.1		
	研究室小 7	15.7	研究室 1	15.7
	研究室小 8	17.3	研究室 2	17.3
	研究室小 9	17.7	研究室 4	17.7
研究室小 10	16.0	研究室 5	16.0	
研究室小 11	16.6	研究室 6	16.6	
研究室小 12	18.1	研究室 7	18.1	
助教・助手室	76.5	研究室 3	16.0	
		研究室 8	17.9	
		研究室 9	15.5	
		印刷室	17.5	

階 数	申請時		変更後	
	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)
6階	情報処理室	132.1	情報処理室	132.1
	講義室 中	90.6	講義室 604	90.6
	演習室 5	44.4	講義室 603	90.1
	演習室 6	44.4		
	演習室 7	43.8	講義室 602	88.7
	演習室 8	43.8		
	研究室小 5	21.2	講義室 601	266.0
	研究室小 6	21.2		
	研究室小 7	22.0		
	研究室小 8	21.6		
	研究室大 1	28.3		
	研究室大 2	29.5		
	多目的室 1	35.0		
	多目的室 2	29.0		
	印刷室	9.3		
給湯室	7.4			
7階	看護実習室 (生活支援)	446.5	看護実習室(生活支援)	376.1
			倉庫	27.0
			ランドリールーム	27.8
	倉庫	10.4	リネン庫	10.4
	学部長室	38.5	演習室 72	27.8
	研究室小 9	24.9		
	研究室小 10	22.0		
	研究室大 3	30.7	演習室 73	29.5
	研究室大 4	31.0	演習室 71	186.8
	多目的室 3	46.9		
	給湯室	6.6		
印刷室・倉庫	24.6			
8階	学生控え室	111.2	学生ラウンジ	111.2
	学生控え室	89.1	学生ラウンジ	89.1
	学生控え室	63.5	学生ラウンジ	63.5
9階	看護実習室(育成支援)	197.6	看護実習室(育成支援)	198.6
	演習室 9	18.5	演習室 91	75.8
	演習室 10	18.5		
	演習室 11	18.1		
	演習室 12	18.1		
	講 堂	412.4	講 堂	412.4
10階	図書館	398.0	図書館	398.0
	看護実習室(療養支援)	257.2	看護実習室(療養支援)	257.2

国際医療福祉大学 FD 委員会規程

(設置)

第1条 国際医療福祉大学学則第11条に基づき、本学の学部ごと又は複数学部にまたがってFD委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学の定める教学の基本方針にしたがい、教育法の改善及び教員の資質の向上などFD(ファカルティ・ディペロプメント)に関して討議を行い、より質の高い教育方法の推進を図るものとする。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

一 学部長の意見を聴いて学長が指名する各学科の専任教員、及びセンターがある場合にあってはセンターの専任教員

二 学長が必要と認めた者

2 前項第一号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 第1項第二号の委員の任期は、学長が必要と認める期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の中から学長が指名する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

(委員会の成立)

第5条 委員会は、半数以上の委員の出席により成立する。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(事務処理)

第7条 委員会の事務は、各キャンパス教務事務主管課の長が取り扱う。

(雑則)

第8条 委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

別紙

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1 専門的な看護実践を行うための知性と感性を備え、人間の成長・発達を支援できる専門職者の育成

福岡看護学部は平成 21 年 4 月に国際医療福祉大学の基本理念を踏まえ、豊かな人間性と広い視野を持ち、変化する医療環境と保健医療に対する社会的要請に応えられ、応用能力のある看護師・保健師及び将来指導者となる人材養成を目指して、スタートした。1 年次学生定員 80 名に対し、102 名の学生を迎えることができた。現在、授業は計画通り順調に推移している。

開学して 2 か月足らずであるが、学生に対する学習支援と生活支援は基礎ゼミナールの位置づけで、少人数制のきめ細やかな指導を行っている。

2 実習等の授業、研究指導での付属病院、関連病院の活用

本学部の主たる実習施設となる高邦会高木病院と福岡山王病院は国際医療福祉大学の系列病院である。両病院看護部と共同して臨床指導者や看護師への研修（電子カルテ導入や看護研究）を本学部教員により実施している。また、夏期休業中には、教員の病院研修を計画している。なお他病院においても実習施設の充実を図るための研修カリキュラムを策定する予定である。

3 教育課程編成の考え方

教育課程は、認可後、カリキュラム進行上授業科目の組み立てを編成し直す必要が生じた。学生のレディネスを踏まえフィジカルアセスメントを 2 年次前期から 1 年次後期に、臨床関連技術論を 2 年次前期から 1 年次後期に、さらに災害看護論を 4 年次後期から 3 年次前期に変更する。（平成 22 年度から実施）

4 教育環境の整備

教員組織については、学年進行で整備することとなっている。今年度は 1 年次の教育を実施するために必要な教員 12 名が就任し、教育環境の整備を進めている。

教員の質向上、FD の観点から、今年度は助教力向上のための研修プログラムを組み実施している。

図書に関しては、非常勤講師指定図書の整備および複数配架が十分ではないが、順次計画的に整備していく予定である。

学生からはサークル活動の場の要望があるが今後検討すべき課題と認識している。

設置の趣旨・目的を円滑に達成できるよう配慮し鋭意努力しているところである。

以上